

地域を見回り安全安心を支える

近所の団員さんに誘われ、19歳で入団しました。実家の新聞店で働き始めてからは、配達中に、煙が出ているのを見て119番通報や、ほやを見つけて消火器で消火したこともあります。消防団に入り防災の視点でまちを見ていたからこそ気づいて対応できました。こういった経験から、みんなの安全を支えているという意識も身に付いたと思います。

消防団の活動を通じて、地域とより深くつながり、かけがえのない仲間もできました。ぜひ、あなたもいっしょにまちを守る一員になりませんか。



▲災害に備え訓練で指揮をする森さん



▲配達は地域の見回りも兼ねています

■消防団歴35年 新聞店勤務



昭和61年4月入団 第2分団

もり まさひこ
森 雅彦 さん 54歳

地域密着で支える心強い消防団員

団員はふだんは市内外で働いている地元の住民の皆さんです。ここでは、地域で働く二人の声を紹介します。



令和元年10月入団 第6分団

ただ ゆきお
多田 幸雄 さん 41歳

仲間とともにまちを守る一員に
商工会議所青年部の先輩から消防団に誘われ、生まれも育ちも蕨だったため、地元への恩返しの気持ちで、入団を決めました。入る前は上下関係が厳しいイメージがありましたが、実際はみんなフレンドリーで、すぐになじむことができました。
買い付けなどで遠方にいて、参集できないときは他の団員がカバーしてくれるので、その分、自分が行けるときは自分がという気持ちになり、支え合いながら活動しています。これからも同じ志を持つ仲間といっしょに、このまちを守っていきたいです。

■消防団歴2年 米穀店店主



▲市内で代々続く米屋を経営しています



▲先輩から指導を受け点検する多田さん

地域の人々のために

まちを守る消防団

火災や大規模災害発生時に職場や自宅から現場に駆けつけ、消火・救助活動を行う消防団。全国で約81万人いる消防団員は地元住民で構成され、自分たちのまちを自分たちの手で守るため活動しています。2分団から5分団までは、蕨の消防団を紹介します。

消

防団は災害時の消火・救助活動のほか、火災予防広報や見回り、各種啓発などの活動を行い、私たちのまちを守っています。

消防団員は、ふだんは会社員や自営業など、別に仕事を持つ地域の皆さんです。「自分たちのまち自分たちで守る」という精神の下、いざというときには現場に駆けつけ、消防活動を行っています。

日頃から定期的に機材の点検や訓練を行い、災害に備えている消防団。実際に令和元年10月の台風19号のときには、市内を見回り、冠水箇所を報告したり、土のうで家屋の浸水を防いだりと、被害を抑えるため、奮闘していました。

このように地域防災の要となっている消防団ですが、最近では全国的に団員が減少しており、蕨でも定員が108人のところ現在の団員は81人と不足しています。自分たちが住むまちを災害から守るため、このたいせつな活動に一人でも多くのかたの力が必要です。参加をお待ちしています。

小学生が描いた防火ポスター展

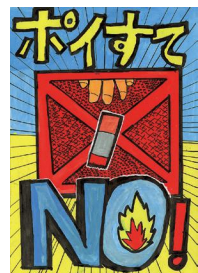
蕨市消防本部と蕨防火協会が行っている防火ポスター展。市内全7小学校から寄せられた455点のうち、入賞作品を紹介します。

高学年の部



いわきり ゆい
岩切 唯さん
中東小学校4年

火が消火されてどんどん小さくなっていく様子を表現しています。周りの水しぶきの勢いが伝わるように力を入れて描きました。



さかいだいつき
坂井田 樹生さん
塚越小学校5年



やまざし そう
山岸 想さん
西小学校4年

低学年の部



こばやし りょうせい
小林 龍正さん
東小学校3年

オリンピックの開会式で見たピクトグラムを使って家族が消火する様子を描きました。習っていない漢字を書くのが難しかったです。



あなざわ かいと
穴沢 海人さん
東小学校2年



つみ せな
堤 聖和さん
東小学校2年

火災に気をつけましょう

空気が乾燥し火事が起こりやすい季節です。火災を起こさないよう火の元をしっかりと確認しましょう。
住宅用火災警報器／全ての住宅に設置（寝室と階段）が義務付けられています。交換目安は10年です。
詳細＝消防本部予防課（☎441・0174）

第1分団 団員数13人

塚越



塚越分署に詰所があるため、施設を使って質の高い訓練ができます。また、女性団員も2人所属しており、男女問わず活躍しています。



むらた けいいち
村田 恵一 分団長

第2分団 団員数14人

中央
北町



経験豊富な人が多いため、新しく入団する人も分からないことがあればなんでも聞ける環境です。安心して入って来てほしいですね。



こもりや つむ
小森谷 勉 分団長

第3分団 団員数10人

中央
北町
錦町



団員数は6分団の中でいちばん少ないですが、その分、コミュニケーションを取り、仲間との距離が近いので、チームワークには自信があります。



くりはら よしお
栗原 良夫 分団長

蕨が誇る6分団を紹介

市内には6つの分団があり、それぞれ担当地区が割り振られています。ここでは、各分団の皆さんを紹介します。

第4分団 団員数12人

北町
錦町



訓練や出動のときはもちろん真剣ですが、ふだんは和気あいあいとした雰囲気です。年齢関係なく、きずなを深め、よい信頼関係を築いています。



やまの い としまさ
山野井 利公 分団長

第5分団 団員数12人

南町



詰所が南町コミュニティセンターに併設しているため、子ども会のイベントのお手伝いもするなど、地域と関わることの多い分団です。



むらおか のぶよし
村岡 伸芳 分団長

第6分団 団員数15人

中央
南町



先輩がたが作ってきた、輪の中に溶け込みやすい雰囲気があるため、ここ数年で新しく入団した人たちもすぐになじんで、活動しています。



すずき こういち
鈴木 孝一 分団長

地域ぐるみで安全安心なまちへ！団員募集

市では消防団員の募集を行っています。活動内容は、火災予防広報や各種指導・啓発、災害発生時などの対応です。非常勤特別職の地方公務員として一定額の団員報酬が支給されます。皆さんの力が必要です。ご協力をお願いします。



対象＝18～54歳の健康で消防・防災活動に意欲のある市民
詳細＝消防本部総務課（☎441・0117）

Interview



消防本部総務課
しもかわ たけし
下川 岳 主任

消防団は地域防災の中核を担う存在です。大規模な災害が起きた際には、市内全てを消防署のみでカバーすることはできません。そのときに地域の皆さんのいちばん近くで頼りになるのは地元に住む消防団の皆さんです。

最近では自然災害が増えており、それに合わせて消防団の活動も地震や水害への対応など多様化しています。しかし、特別な技能は必要ありません。実際に消防団員は市内外で働く会社員・自営業者や学生、女性などさまざまです。誰にでも活躍の場があります。

今後起きうる大規模災害に備えるため、消防団の力が必要です。まちを守りたい気持ちがあればどなたでも大歓迎です。興味があるかたは消防本部までご連絡ください。